



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ オ 1 例会のみ 18時30分 於 海南商工会議所 4 F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

オ56回 例会 昭和51年8月30日(月) 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 谷 井 昭 三

2. ロータリーソング 「奉仕の理想」

3. 昼 食

4. 出席率 84% 会員総数25名 出席者数21名
前回修正出席率 88%

5. ゲ ス ト 海南警察署長 阪本捨男様

6. ビジター 山県俊男様(和歌山東R.C.) 糸川順治様(海南R.C.)

7. メイキャップ 中尾君(8月23日東京築地R.C.にて、8月24日東京葛飾R.C.にて)
片山君(8月25日青森弘前東R.C.にて)
吉田君(8月25日海南R.C.にて)

8. 会長スピーチ

◎ 先週は葬儀の為に欠席致しまして失礼致しました。私の場合は公私混同の立場にありお許しをいただきたい。公の立場からは先週例会にて柳川副会長より御礼をのべていただいたとの事ですが私からも改めて御礼を申し上げます。

以前から再々に互り申し上げております会員増強につきましては地区がガバナーの強い要請もあり会員全員の責任において是非達成したいと思う。R.I. ニュース8月号の中でも増強はあなたがた次オと云う見出しで会員一人一人皆の仕事である云う趣旨のことが書かれている。ガバナー月信にも「親愛なる朋交ロータリアン」と題して会員増強についてのR.I. 会長からのメッセージが大きいものっているがR.I. の理事会で採択された会員増強の声明書も記載されている。ロータリーの拡大発展には会員増強はかせないものであるから会員増強によって、ロータリーに進展寄与する事は個々の会員の勤めである事を自覚せよと結んでいる。此の様にR.I. でも大変な熱の入れようですが是非我々もこの方針に沿い目標を達成したいと思う。

"SERVICE" I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

9. 幹事報告

◎ チャーターナイト案内

オ 368 地区伊丹有明 R.C.

日時 昭和51年10月24日(日)

場所 式典会場 伊丹市立文化会館
祝宴会場金陽閣

◎ 理事会開催案内

日時 昭和51年9月4日(土)

19:30～於木村屋

◎ I.C.G.F.打合せについて

オ 2組 I.C.G.F.(ホスト橋本 R.C.)

日時 昭和51年9月9日(木)14時～

場所 橋本カントリークラブ

出席義務者 片山幹事

◎ 地区ロータリー財団委員長会議

日時 昭和51年9月16日(木)14:00～17:

場所 阪神百貨店9Fグリーンルーム

10. 冬野家を代表され 山県様から丁寧な御礼の挨拶をいただきました。

11. 委員会報告 奥村会員増強委員長

◎ 会長幹事からたびたび御話をいただいておりますので皆様方には新会員推薦の腹づもりが既に出来ている事と思います。お手元に当 R.C. の職業分類表と会員推薦用紙を配っておりますので来9月15日までに記載の上、私の方迄提出下さい。尚職業分類が出来かねる方はその欄は書かなくとも結構です。

12. ファイヤーサイドミーティング報告

A組 川端君 1. クラブ細則に就いて

2. 例会に欠席の場合の連絡について

3. 会員増強について。以上3議題を中心
に討論し再確認を計った。

B組 柳川君 R.C. 入会当時の初心

にかえりロータリー入門の読み合

せを行い各会員の見解をもとに討
論し再確認しあった。

13. 卓 話 最近の交通事情に就いて 阪本捨男様

先日の読売新聞の社説に「車ブームの再燃について」と題して掲載されていたが自動車業界は好収益を上げ史上最高の増産を計っている。昨年2800万台だった車の保有率が今年に入り3000万台に達すると云うブームでこの10年間の8割の普及率に値すると云う。自動車の普及状態は最近、都市圏から地方圏に移り事故発生率も此れに比例して激増している。またこの反動として交通弱者を優先して守れと云う声も高くなった。ウーマンリブの時代にたがわず女性ドライバーが漸増しているのも特徴の一つである。昭和21年度と(昭和49年度)の車輛台数、発生事故数、死亡者などについて比較してみると車輛台数16万台(2700万台)約166.3倍発生事故件数約12,000件(49万件)約40倍、死亡者約4,400人(約11,400人)約2.6倍となっている。さいわい昭和48、49年度をピークとして発生事故件数、死亡者共に漸減してきたが土、日曜日は事故が多く月別では10月～12月が多いようである。またいっとき歩行者の事故が多かったが最近では乗車中の事故がふえている。和歌山県も昭和49年度は全国5位の事故死亡者の多い不名誉な記録を持っているが昭和50年度は取締の強化指導もあって全国19位迄下り警察庁長官から表彰された。アンケートによる国民の声は交通安全のため取締りは厳しくとの声が多く当署としては意を強くしている。速度違反、駐車違反が違反の大半を示めている。県内で徴収された罰金は各市町村に配分されるのだが海南市へは1,125万円野上町へは46万5000円とおもに交通安全対策の為に還元されている。来9月21日から月末迄秋期交通安全週間が始まるが今年のタイトルとして「なくそう転落事故、夜の事故」をあげている。皆様には此の趣旨の意のあるところを御理解いただき御協力のほどお願い致します。

次回例会案内 オ 57回昭和51年9月6日(月)18:30～於海南商工会議所
ゲスト 株式会社富士アイス海南店支配人 西端俊夫様
テーマ 和食マナーに就いて

オ 58回昭和51年9月13日(月)12:30～於海南商工会議所
会員卓話 川端君 楠部君 前窪君